

四條畷市総合教育会議（平成28年度第2回）  
会議録

四 條 畷 市

1 平成28年10月26日 午後1時 四條畷市役所本館ミーティングルームにおいて、四條畷市総合教育会議を開催する。

2 出席者

市	長	土井一憲		
教	育	長	森田政己	
教育長職務代理者		山本博資		
教	育	委	員	大村民子
教	育	委	員	原知雅
教	育	委	員	吉田知子

3 事務局出席者

理事兼政策企画部長	開康成						
教	育	部	長	坂田慶一			
教	育	部	次	長	兼	西口文敏	
教育環境整備室長兼課長							
教	育	総	務	課	長	阪本律子	
地	域	教	育	課	長	杉本一也	
教育部教育環境整備室上席主幹兼 学校教育人権教育・教科指導担当課長	河上弘子						
子	ども	政	策	課	長	藤岡靖幸	
企	画	調	整	課	長	代理	板谷ひと美

4 会議録作成者

企	画	調	整	課	板谷ひと美
---	---	---	---	---	-------

5 案件

- (1) 平成29年度予算編成方針について
- (2) いじめ防止の取組みについて
- (3) 認定こども園の設置について
- (4) 地方創生加速化交付金を活用した事業の実施について
- (5) その他

<p>市長</p>	<p>本日はお忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。  只今から、平成28年度第2回の総合教育会議を開催させていただきます。  まず初めに、既にご承知のことと存じますが、8月18日の藤岡前教育長の退職に伴い、9月2日から新しく森田教育長に就任いただいておりますのでご報告申し上げます。  また、これに伴い、山本前教育委員長には、教育長職務代理者にご就任いただきました。  加えて、10月11日付けで任期満了となった田伏前教育委員の後任として、12日付けで教育委員に着任された吉田委員を本会議の新メンバーとしてお迎えしておりますので、重ねてご報告申し上げます。  さて、本会議は、27年4月に第1回を開催し、今回が第4回となります。  これまで、教育大綱として位置付けた教育振興ビジョンの審議、改訂のほか、地方創生に基づく本市総合戦略の説明やいじめ防止に向けた取組み経過、29年度に開設予定の認定こども園に関する意見交換などを行ってまいりました。  今回は、次年度予算要求の時期でございますので、29年度に重点を置く教育施策に関しての意見交換に加え、前回に引き続き、いじめ防止の取組みや認定こども園の検討状況等について、皆様と闊達な議論を行ってまいりたいと考えております。  本年5月には、教育大綱に位置付ける、教育振興ビジョンの改訂を行いました。  ビジョンに掲げる、「ひとづくりはまちづくり」の理念に基づき、教育と他施策との益々の連携を深めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。</p>
<p>開理事兼政策企画部長</p>	<p>それでは、案件に沿って進めさせていただきます。  まず、案件1について、教育部よりお願いします。</p>
<p>坂田教育部長</p>	<p>案件1 教育に関する29年度予算編成方針につきまして、ご説明させていただきます。  教育委員会では、現在、教育振興ビジョン（教育大綱）に掲げる目標達成に向け、各種の取組みを進めているところです。  本日は、29年度の予算編成方針のうち、教育施策の新規及び拡充予定事業を5点に絞り報告させていただきます。</p>

まず、小中学校におけるICT支援員の配置について、第2期児童生徒学力向上3ヶ年計画に基づき、27年度にアクティブラーニング及びユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりと情報化社会に対する基礎力を培うため、国の交付金を活用してICT支援員を配置した経緯がございます。

本事業は、この間の学校現場からの要望等に加え、32年度に向け国が検討している小学校のプログラミング教育導入を視野に入れ、市単費でICT支援員を配置し、ICT教育のさらなる推進をめざすものでございます。

次に、土曜日フォローアップ教室の小学校会場での開催については、本年度、市民活動センター会場をくすのき小学校会場に移し、試行実施しているところです。

効果といたしましては、会場を小学校にすることにより、当該校のふれあい教室の通所児童を含め、多くの子どもたちが参加しやすい環境になり参加者数が倍近くに増加している状況です。

本年度の効果を踏まえ、29年度はグリーンホール田原会場を田原小学校会場に移し実施する予定にしております。

また、現在、教室運営を地域ボランティアの皆さんにお願いしているところですが、次年度からは、各会場の巡回指導やスタッフの勤務等の全体的な調整を担う土曜日フォローアップコーディネーターを配置し、効果的な教室運営を行う予定です。

次に、ひきこもり支援事業の充実について、27年3月に策定した子ども・若者育成支援行動計画では、ひきこもり等の状況にある子ども・若者に対し、地域での見守りや発見から誘導につながる支援等の体制を構築するため、相談窓口における適正な対応による早期解消と機能充実を求めています。

これまでは、福祉部局との連携など横断的な取組みを進めてきましたが、相談窓口を地域教育課に置き、事務職員が個別対応をしていることから、専門的な助言や的確な誘導に苦慮している状況です。

このことから、29年度からは本事業を充実させ、一人でも多くの対象者の環境を変えるため、臨床心理士等の専門性のある職員を地域教育課に配置し、不登校対策を行う教育センターとの調整を含めた庁内連携体制の強化をめざします。

次に、ビブリオバトル中学生大会及び本の帯コンクール小学生大会の開催についてです。

本市では、これまで児童生徒学力向上3ヶ年計画及び第2次子ども読書活動推進計画に基づき、学校における読書活動の推進に力を

<p>原教育委員</p>	<p>注いでまいりました。</p> <p>また、図書館では、年数回ビブリオバトルを開催し、市民への読書活動の啓発に努めております。</p> <p>ビブリオバトルとは、テーマに沿って自分が推薦する本を5分程度で発表し、観戦者からの質疑応答と投票によりチャンプ本を決定する書評合戦です。</p> <p>29年度からは、小中学生の主張コンクールをビブリオバトル中学生大会に移行し、本を通じ、生徒が学んだ知識や思考力、表現力を発表する場を設ける予定です。</p> <p>また、小学生には、本の帯コンクール小学生大会を企画してまいります。</p> <p>最後に、四條畷南中学校の閉校準備委員会への補助制度の創設でございます。</p> <p>教育環境整備計画に基づく適正配置及び校区再編を踏まえ、先般、四條畷南中学校のPTA、学校関係者、地域関係者、OB等で構成される四條畷南中学校閉校準備実行委員会を発足されました。</p> <p>閉校にあたりましては、昭和46年の開校から46年間の歩みや思い出を後世に残したいとの実行委員会の思いから、29年度末に予定する閉校式典をはじめ、記念碑の作成や記念紙の発刊を計画されており、本市として協働の観点からの補助を行うものでございます。</p> <p>これについては、今後閉校となる他校に実行委員会等が設置された場合にも適用可能な補助制度とするため、市立学校閉校に伴う記念事業等に関する補助金交付要綱を策定のうえ、200万円を限度に予算の範囲内で対象経費の1/2を補助する旨規定したいと考えております。</p> <p>以上が教育関連の主な新規・拡充事業の報告であり、今後、他の事業を含め予算要求を行い、29年度当初予算として市議会定例会に上程する予定です。</p> <p>ICT教育について、幼稚園では、子どもたちにできるだけ機器操作をさせない考えですが、アクティブラーニングは従来から意識してやってきたところです。</p> <p>これについては、子どもたちが何をどのようにして学んでいるかを保護者にしっかりと可視化して、理解、協力を得て進めたいと思っております。</p>
--------------	--

大村教育委員	<p>情報機器の操作が得意な若い教員も増えていますが、ICT機器の活用支援は有るに超したことはないと思います。</p> <p>これまでの学校教育でも、アクティブラーニングは当然のように行ってきましたが、ICT機器を活用することで、より主体的な学びを追求するという意味で、深く実践していただければと思います。</p>
吉田教育委員	<p>土曜日フォローアップ教室について、学校の授業以外にそのような場があることは保護者として助かることだと思います。</p> <p>ただ、シルバー人材センターの子ども学習教室に比べ認知度が低いのと、土曜日にスポーツ活動を行っていたり、保護者の意識が低かったりと、教室に行ける子どもとそうでない子どもの差が出るのではないかという点を懸念しています。</p>
教育長	<p>土曜日フォローアップ教室の周知に関し、本事業の募集は4月当初に学校からの案内で行っています。</p> <p>また、今年度は慣れ親しんだ学校での開催を施行実施したことから、参加者が増えている状況です。</p>
市長	<p>土曜日フォローアップ教室には、普段の勉強に課題がある子どもにこそ多く参加して欲しいと思っています。</p> <p>そういう意味では、担任の先生からの積極的な呼びかけと、土曜日に活動されているスポーツ団体の指導者の方にも理解を求めていくことが必要と考えています。</p>
原教育委員	<p>高学年になると、スポーツや習い事など、子どもの意志に基づく活動が増えますが、低学年は保護者の意識が強く影響する部分があるので、状況として低学年の参加が比較的多い傾向にあるのではないのでしょうか。</p>
山本教育長職務代 理者	<p>土曜日フォローアップ教室については、担任の先生が関わって家庭の意識を学校に向けること、また、環境整備の面で、子どもたちが通いやすい学校での実施が望ましいと思います。</p>

開理事兼政策企画 部長	ひきこもり支援の充実について、教育長の考えを聞かせていただけますか。
教育長	<p>ひきこもり支援については、ひきこもりにある状態を早期発見し、早期支援につなげることが非常に重要です。</p> <p>そういった意味で、次年度に相談窓口で専門職（心理職）を配置し、経験と専門的見地からの見立てができる体制づくりを進めたいと思っています。</p>
河上教育環境整備 室上席主幹兼人権 教育・教科指導担当 課長	<p>現在、不登校への支援として、教育センターに専門職（心理職）を置き対応にあたっています。</p> <p>今後は、ひきこもり相談窓口と教育センター間での専門職（心理職）の連携を深め、学齢期から卒業後にわたる連続的な支援ができたかと考えています。</p>
大村教育委員	<p>ひきこもりの家族を抱える家庭は、その事実を周囲に隠しがちになります。</p> <p>しかし、社会とのつながりが疎遠になるほど、ひきこもりが助長されるので、当事者とその家族を地域全体で受け入れる社会の形成が必要だと思います。</p>
山本教育長職務代 理者	<p>当事者が学校に在学している間は行政も地域もひきこもり状態を把握しやすいですが、卒業すると把握できなくなってしまいます。</p> <p>そういう意味では、今、本市にどういう実態があるのかを把握する必要があると思います。</p> <p>また、在学している間は学校に悩みを相談できますが、社会に出てからはそうではありません。卒業後も悩みを相談できるシステム作りが必要です。</p>
開理事兼政策企画 部長	27年度から、健康福祉部内に生活困窮者の相談窓口（なわて生活サポート相談）を設け、ひきこもり状態にある若者を含めた就労困難者への総合的な支援を行っています。

	<p>今後は、こちらとの連携、連動をより深めていく必要があると考えています。</p>
<p>市長</p>	<p>ビブリオバトルの話に移りますが、小中学生の主張コンクールをビブリオバトルに移行することについては、質疑応答が加わることで子どもたちの更なる能力向上が見込めるものと思っています。</p> <p>しかし、従来の主張コンクールについても、毎年、大変立派な発表が行われており、これまで進めてきた読書活動の推進や学力向上の成果の現れと評価しています。</p>
<p>教育長</p>	<p>小中学生の主張コンクールについては、私も、本市が教育目標とする生きる力の醸成という部分に大きな成果があったものと評価しています。</p> <p>次年度からのビブリオバトルでは、双方向のコミュニケーションが加わるという点で、これまでの取組みをさらに深化させた内容にできればと考えています。</p>
<p>開理事兼政策企画部長</p>	<p>閉校準備委員会への補助について、教育環境整備室から何か意見はありますか。</p>
<p>西口教育部次長兼教育環境整備室長</p>	<p>閉校準備委員会への補助については、中学校の校区再編を控え、行政として、地域、保護者、教員の皆さんの思いに応え得る経済的支援が欠かせないものと判断し、制度創設に至ったものです。</p>
<p>開理事兼政策企画部長</p>	<p>本制度は南中学校の閉校にあたり創設されたものですが、今後予定される小学校の再編整備における考えを市長からお聞かせいただけますか。</p>
<p>市長</p>	<p>今回の制度創設については、南中学校のPTAやOB代表の方々からの話しを受け、行政として何かお返しできないかとの思いに至り検討を行ったものです。</p> <p>小学校に対しても、それぞれの皆さんの思いを反映できるよう、協力していきたいと考えています。</p>



<p>開理事兼政策企画 部長</p>	<p>以前の総合教育会議において、山本教育長職務代理者から、部門毎に予算編成権限を付与する仕組みについてのご提案がありました。</p> <p>それを受け、29年度の予算編成では、500万円を上限に予算の削減効果や歳入効果を部長権限で自由に活用できるインセンティブ予算制度を導入しましたのでご報告します。</p> <p>教育委員会においても、検討のうえ、活用いただけたらと思います。</p>
<p>山本教育長職務代 理者</p>	<p>予算について検討いただいたということで、ありがとうございます。</p> <p>最後に、ICT支援員の配置に関連し、32年度の学習指導要領に盛り込まれるプログラミング教育については、プログラムの作成に重点を置くのではなく、プログラミングの考え方を身につけるための学習だということを改めて確認しておく必要があると思います。</p> <p>教育委員会側の話しになりますが、どのような教育をするのか、今後、しっかり中身を作っていかなければならないですし、器材を整備することだけにとらわれてはいけないと思います。</p>
<p>開理事兼政策企画 部長</p>	<p>次に、案件2に移らせていただきます。</p> <p>子ども政策課からお願いします。</p>
<p>藤岡子ども政策課 長</p>	<p>案件2 いじめ防止の取組みについて報告させていただきます。</p> <p>まず、前回の報告以降の取組みとして、7月5日にいじめ問題対策連絡協議会を開催し、教育委員会から27年度のいじめの認知件数等の報告を行っていただきました。</p> <p>報告のなかでは、いじめの認知件数が25年度をピークに減少傾向にあること、また、効果のある取組みとして、QUの活用、学級崩壊を防止するための人的配置、授業改善による安心できる居場所づくり等の説明がありました。</p> <p>加えて、子ども政策課から、子どもたちの見守りを趣旨に、夏休み前に作成、回覧した地域への啓発チラシの紹介と子ども基本条例</p>

<p>大村教育委員</p>	<p>の説明を行いました。</p> <p>委員からは、ネットやSNS、ラインなどを介した仲間はずれの対策についての質問があり、出前講座での啓発事例などをお伝えしたことに加え、地域パトロールを行うのに、ジャンバーなど、自分達の役割を示す物品があると声掛けをしやすく、子どもたちも従いやすいなどの意見をいただきました。</p> <p>本協議会は年2回の開催を予定しており、次回は11月29日を予定しております。</p> <p>いじめの認知件数は、とらえ方により変動しやすいものなので、教師間の共通認識と1人ひとりの子どもへの理解が欠かせません。</p> <p>そういう意味では、教師が子どもを十分に観察できる時間の確保と人的配置の検討が必要です。</p> <p>また、保護者や地域に対し、いじめの正しい理解を促していかなければなりません。</p>
<p>吉田教育委員</p>	<p>学校のPTA活動の中で、地域の高齢者と給食交流会を行っており、終了後にパトロール用のワッペンを配布するなどの取組みを行っています。</p> <p>地域の中で、コミュニティの形成や世代間交流が円滑に行われていれば、いじめの早期発見にもつながるのではないかと思います。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>田原地域では、子どもたちの下校時刻に合わせて犬の散歩を行うなどの取組みが行われており、非常に多くの協力者があります。</p> <p>これらの取組みは、いじめの抑止に大変有効です。</p> <p>人間関係に起因する個々のしんどさは、いじめの定義に該当するか否かは別として、子どもたちにとって大きな問題です。</p> <p>それぞれの悩みに応え得るシステムを大人たちがしっかり作っていく必要があります。</p>
<p>市長</p>	<p>日々の子どもたちの変化を見逃さないという面で、家庭の役割というのが非常に重要になります。</p> <p>今後は、家庭に向けての啓発をより進めていきたいと考えていま</p>

<p>開理事兼政策企画 部長</p>	<p>す。</p> <p>では、子ども政策課から次の案件の説明をお願いします。</p>
<p>藤岡子ども政策課 長</p>	<p>案件3 認定こども園の設置について報告します。</p> <p>先般の9月議会において、四條畷市立認定こども園条例を制定し、29年4月1日から忍ヶ丘保育所とあおぞら幼稚園を統合した忍ヶ丘あおぞらこども園を開設することとしました。</p> <p>今後は、新規開設する忍ヶ丘あおぞらこども園の効果検証を行いながら、岡部保育所についても移行の検討を行う予定にしております。</p> <p>なお、民間園に関しましては、27年度に保育園1園の移行があり、29年度に保育園3園、幼稚園1園の移行が予定されています。</p> <p>次に、公立園での給食に関し、29年度から新設する忍ヶ丘あおぞらこども園及び岡部保育所で調理を民間委託する予定にしております。</p> <p>これについては、年内にプロポーザル方式による業者選定を行い、来年4月までに引継ぎを行う予定です。</p> <p>最後に、認定こども園における1号認定の子どもの給食費について、食育と子育て支援の観点から、29年4月以降、市内の認定こども園及び施設型給付の幼稚園で給食を提供する場合の給食費を無償化する予定にしておりますのでご報告申し上げます。</p>
<p>原教育委員</p>	<p>先日、四條畷市が進めるプロジェクト型保育の様子を見学させていただきました。</p> <p>現場の保育士はもとより、行政が頑張ろうとしている意気込みをすごく感じました。</p> <p>幼保が一緒になり、入学後の子どもたちがしっかりと能力を伸ばせる仕組みを作ろうとしているのが非常に素晴らしいです。</p> <p>認定こども園については、先生、保護者、子どもたちの皆がWin-Winの関係になれることを念頭に置き、良い発展があればと思います。</p>

<p>教育長</p>	<p>認定こども園の開設にあたっては、保育の要素に加え、幼稚園としての教育機能をしっかりと発揮させるため、必要な部分の情報発信と市長部局との更なる連携を強めていきたいと思っています。</p>
<p>開理事兼政策企画部長</p>	<p>子どもたちの保幼小中の連続した発達を一体的に考えていくため、現在、子ども政策課を中心にアクションプランの取りまとめを行っています。</p> <p>子ども政策課長、今年度中に進めていくということで良かったですか。</p>
<p>藤岡子ども政策課長</p>	<p>はい、現在、小中学校の校長代表、民間の保育園、幼稚園の代表、公立の幼稚園、保育所の代表と関係機関を構成員として、0歳から中学校卒業までの理想とする子ども像を追求するための役割分担の話合いや情報共有を行っているところです。</p> <p>来年2月をめどにまとめる予定にしています。</p>
<p>開理事兼政策企画部長</p>	<p>次に、案件4について、事務局からどうぞ。</p>
<p>板谷企画調整課長代理</p>	<p>案件4 地方創生加速化交付金を活用した事業の実施状況について、前回の会議のなか、全体的な事業のスキームをお知らせしておりましたが、半年弱の時間が経過しておりますので、改めて事業の概略からご説明させていただきます。</p> <p>本件は、地域、民間、行政と連携した都市型農業の魅力創出と生活困窮者の自立支援を端緒に、本市の、まち・ひと・しごとの創生をめざし実施するものでございます。</p> <p>5月の時点では、国からの交付金確保に向け、事業計画を提出している段階でしたが、8月30日付けで内閣府の交付決定があり、現在、実施に向けた準備を進めているところです。</p> <p>本事業は、作業負担が少なく、安定的な作物供給が可能な砂栽培野菜の生産と給食食材としての納品を民間事業者に委託し、就労に困難を抱える若者や障がい者、高齢者の雇用の場を確保するとともに、食に関する各種イベント等の開催により、新たな営農方法の普及促進と子どもたちや子育て世代への食育の推進に寄与することを趣旨としております。</p>

	<p>また、砂栽培野菜をはじめとした市内農産物とその加工品に付加価値を付け、ブランド化することで四條畷産野菜の販路拡大をめざしてまいります。</p> <p>加えて、栽培した野菜を活用し、子育てサークルとの連携による子ども食堂を立ち上げ、朝食を欠食する子どもたちへの朝ごはんの提供を予定しており、事業の開始予定といたしましては、食育関連のクッキング講座の実施やレシピ配布を11月初旬、市内農産物のブランド化を11月中旬、子ども食堂を来年1月以降に開始する予定で、砂栽培野菜の生産に関しては、ビニルハウスの建設と使用する高床式ベッドの納品、搬入に時間を要すことから、2月頃の開始を見込んでおります。</p> <p>なお、本件は28年度繰越しの国庫補助を活用することから、全ての事業完了を29年3月とすべく、それぞれの所管において遅滞なく事業が進捗するよう努めてまいります。</p>
山本教育長職務代理者	<p>交付金を活用するには、事業の継続性が求められるとのことでしたが、交付金を使って事業をスタートさせるところまでは良いですが、その後は採算が採れ、自立経営が成り立つと考えておられるのでしょうか。</p>
開理事兼政策企画部長	<p>本事業について、産業振興という点では、イオンや商店街での販売を含めた長期的なビジョンで進めていく必要があると考えています。</p> <p>しかし、給食センター内の敷地面積を考えると生産量に限りがあることから、当面は全てを給食食材として納品いただきながら、自立的な経営をめざしていただきたいと思っています。</p>
開理事兼政策企画部長	<p>では最後に、案件4 その他について、教育部から順次説明願います。</p>
西口教育部次長兼教育環境整備室長	<p>教育環境整備計画の進捗状況についてご報告いたします。</p> <p>先般の9月議会において、四條畷中学校と四條畷西中学校の整備事業の契約が成立しました。</p> <p>これにより、30年4月の西部地域での中学校の校区再編の取組みが大きく進むこととなります。</p> <p>現在、株式会社浅沼組大阪本店を代表企業とする、浅沼・藤井・</p>

浦辺特定建設工事共同企業体と基本設計に向けての協議を随時行っているところです。

協議の過程においては、設計会社の同席のもと、それぞれの中学校の管理職や教員から施設整備にあたっての要望や意見、提案などを聞き、都度、設計に反映しています。

特に、四條畷中学校敷地内に新設する小中連携棟については、隣接する忍ヶ丘小学校を併せて活用するので、小学校からも意見をいただき、基本設計をはじめ、その後取り組む実施設計に反映させてまいります。

なお、基本設計のアウトラインを決める学校との協議がほぼ終了したので、11月からは本格的な設計が開始されます。

加えて、安全な通学路の確保に向け、従来から進めている防犯灯のLED化をはじめ、今年度は小学校区ごとに7台、市内で49台の防犯カメラを設置するなど、校区再編に向けた整備に順次、取り組んでいるところです。

なお、西部地域の小学校整備については、29年度から円滑な取組みが進められるよう、現在、関係部局との議論を進めており、今後も様々な媒体を活用し、市民方々への周知啓発に努め、教育環境整備の必要性に理解を求めてまいりたいと考えております。

杉本地域教育課長

日本遺産登録に向けた取組みについて、ご説明させていただきます。

日本遺産の登録とは、世界遺産登録や文化財指定といった文化財の価値付けや保全のための制度ではなく、地域に点在する遺産を面として活用、発信するにより地域活性化を図ることを趣旨としています。

また、日本遺産として認定するのはストーリーで、①歴史的経緯や地域の風土に根ざし受け継がれる伝承、風習等を踏まえている、②地域の魅力として発信する明確なテーマが設定されている、③単に地域の歴史や文化財の価値を解説するだけのものになっていないの3つの条件があり、認定申請する場合、一市町村での地域型申請と複数でのシリアル型申請の2種類があります。

現在、河内長野市から、楠木正成を巡る旅は日本人を巡る旅をテーマに本市を含め、富田林市、島本町、千早赤阪村の5市町村でのシリアル型申請を行いたいとの打診があり、協力する予定にしております。

また、高槻市が三好長慶に関し日本遺産登録を考えておられ、本市に協力を求めたいとも聞き及んでいる状況です。

<p>教育長</p>	<p>4月22日に実施された平成28年度全国・学力学習状況調査結果の概要についてご報告します。</p> <p>本調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語A、B及び算数・数学A、Bの教科で実施しています。</p> <p>各教科の平均正答率及び全国比の経年変化をみると、依然課題があるものの、同一集団を追うと、徐々に各学校の取組みが成果として現われてきている状況です。</p> <p>また、低位層・高位層の全国比は、どちらも大きな改善には至っておりませんが、授業改善の柱としている授業のユニバーサルデザイン化（目標・めあての提示、話し合い活動等）が大きく改善状況にあります。</p> <p>加えて、家庭学習の習慣化や土曜日フォローアップ教室などの取組みが充実してきており、これらの継続的な取組みをもって改善を図ってまいりたいと考えています。</p> <p>本日は概要の報告となりますが、分析の詳細は後日させていただきます。</p>
<p>山本教育長職務代理人</p>	<p>日本遺産の登録について、大阪ではどれ位認定されているのでしょうか。</p>
<p>杉本地域教育課長</p>	<p>大阪では認定されたものはいまだありません。</p> <p>河内長野市が前回単独で申請を出されたものの、認定が叶わなかったため、違った方策での申請をなされるための今回の打診ということです。</p> <p>28年度の現状としては、全国からの67件の申請のうち、19件が認定ということで、かなりストーリー性のある申請でない通らない模様です。</p>
<p>開理事兼政策企画部長</p>	<p>学力向上策について、先ほど市長から家庭教育の推進に力を入れていきたいとの発言がありましたが、その点について、坂田教育部長いかがですか。</p>
<p>坂田教育部長</p>	<p>学力向上策については、現在、第2期学力向上3ヶ年計画の中間期にあり、これをしっかりと総括し、第3期につなげたいと考えています。</p>

<p>開理事兼政策企画 部長</p>	<p>現在の第2期計画は、学校の授業づくりを中軸に据え、家庭学習の分野では自学自習ノートの活用などに取り組んでいます。</p> <p>また、第3期では、家庭学習の強化を軸にしたいと考えており、読書活動の推進なども盛り込む予定です。</p> <p>加えて、子どもたちが授業に集中できる体力づくりということで、体幹強化の取組みなどを考えており、結果としての数値も大切ですが、学力が低位層にある困難家庭の子どもたちが中学3年生でしっかり自分の進路を見出せるような取組みを併せて進めたいと思っています。</p> <p>これらの取組みについては、森田教育長から市長に対し、就任早々にお話しがありました。</p> <p>市長からは、学校だけでなく地域全体の取組みとして進めたいとの意向で両者の意思統一がなされたところです。</p> <p>それを受け、現在、全庁をあげ、学校教育、地域教育、生涯学習、地域活性化及び世代間交流を取り入れた読書を軸としたまちの魅力づくりの検討を行っているところであり、案がまとまり次第、本会議に提示させていただき、ご意見を伺おうと思っております。</p> <p>その他案件については以上ですが、全般に関し、皆様からご意見はございますか。</p> <p>(「意見なし」)</p>
<p>開理事兼政策企画 部長</p>	<p>ないようでございますので市長から総括をお願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>本日は闊達な議論をありがとうございました。</p> <p>今後も引き続き、教育委員の皆様と力を合わせ、子どもたちのために何ができるか考えてまいりたいと思います。</p> <p>まずは、命を守るための教育環境の整備、そして、学校、地域、家庭が連携した学力向上対策。</p> <p>これらの全てが今日の案件の中に網羅されていたように思います。</p>



今後とも皆様からのお力添えをお願いいたしまして、私からの総括とさせていただきます。

只今を持ちまして総合教育会議を閉会とさせていただきます。

どうもありがとうございました。